

訪問看護ステーションきさらぎ 美魔女通信

2024年8月発行

第3号

編集・花本

非常に暑い日が続いていますが、みなさまお体大丈夫でしょうか。暑さで気が滅入っているでしょうが、夏はイベントも盛りだくさんです！たくさん遊び、たくさん吞んで、暑い夏を乗り切りましょう！

さて今回は、『服薬管理』について・・・皆様の周りにこんな方はいませんか？



- ☑ お薬の飲み忘れが多くて、おうちにたくさん余っている…
- ☑ いろんな病院からお薬がでていて、何の薬かよく分からない…
- ☑ 数が多すぎて、どれをいつ飲めば良いか分からない…



元気な頃はご本人やご家族が管理できていましたが、高齢になりお薬の量が次第に増え、少しずつ薬の飲み方が分からなくなっている方を多く見受けられます。

「できているから大丈夫」と言われる方も、よくよくお尋ねすると「実は・・・」といったケースが多くあります。大事なお薬が飲めていないと、体調不良や病状悪化につながりますので、周りの方々について今一度ご確認いただけたらと思います。

《服薬管理について、ステーションの取り組みをご案内します》

●利用者様が一人で管理しているときは、不安に任せ、屯用薬を頻繁に服用されていきました。看護師が定期訪問して傾聴することで精神安定につながり、屯用薬を飲む回数が減りました。

●訪問開始当初は週1回、服薬カレンダーを使って管理しましたが、飲み忘れが非常に多かったので訪問回数を増やして対応。1週間分をセットしていたのを3～4日分で管理することで混乱が減ったようです。定期訪問に入るリハビリ時も声掛けすることで、飲み忘れが随分減りました。

●錠剤が飲みにくい、食事を抜かすから薬を飲み忘れるなどの困りごとを聞き取り、主治医や担当薬剤師へ連絡して連携しています。また、ご本人が受診時に主治医に相談ができないことも多くあります。事前に相談することをご本人・ご家族と確認しあい、体調に沿った薬を処方してもらえよう支援しています。

空き状況	看護	曜日、時間をご相談ください
	リハビリ	ご希望の時間にお応えします

ご連絡先 訪問看護ステーションきさらぎ (0829) 20-5361